

大学院修了までの流れ

Process

一般(長期履修を含む)・社会人(長期履修を含む)・外国人留学生

出願(出願資格:出願種類は募集要項参照のこと)

入学試験

修士課程

ゼミナール群(計8単位以上)

修士論文作成に向けて、各自のテーマに沿った研究遂行に必要な内容と方法の検討を行う。

研究特論群(計22単位以上)

専門領域の先端的研究動向を展望し、総合的・学際的に人間や社会に対する理解を深め、幅広い視野から福祉課題にアプローチする能力を習得する。

論文指導

修士論文中間発表
立正大学社会福祉学会発表

修士論文草稿提出・複数指導体制

修士論文の提出・審査・判定

修士(社会福祉学/教育福祉学)
学位授与

博士後期課程

研究指導(3年間)

博士論文作成に向けて、各自のテーマに沿った研究遂行に必要な最先端の内容と方法の検討を行い、独創的な研究のあり方を確立する。

特殊講義(計12単位以上)

専門領域の最先端的研究動向を展望し、総合的・学際的に人間や社会に対する理解を深め、幅広い視野から福祉課題にアプローチする能力を高める。

論文指導(課程博士)

博士論文中間発表
立正大学社会福祉学会等発表

博士論文草稿提出・複数指導体制

博士論文の予備審査
提出・審査・公聴会・判定

博士(社会福祉学)学位授与

開講時間割

| 時限 | 時間 | 月～金 | 土 |
|----|-------------|-----|---|
| 1 | 9:00～10:30 | — | — |
| 2 | 10:40～12:10 | — | — |
| 3 | 12:50～14:20 | — | ○ |
| 4 | 14:30～16:00 | — | ○ |
| 5 | 16:10～17:40 | — | ○ |
| 6 | 18:00～19:30 | ○ | — |
| 7 | 19:40～21:10 | ○ | — |

社会福祉学専攻においては、首都圏を中心とする社会福祉系大学院13校による委託聴講生交換制度(聴講し修得した単位を修了単位に含めることができる)があります。



主な就職先・進路

社会福祉・医療・保健機関、小学校・中学校・高等学校、大学・短期大学・福祉関係専門学校、行政機関、研究機関、民間企業など

入試要項

Admission Information

募集人員

修士課程 社会福祉学専攻 6名
修士課程 教育福祉学専攻 4名
博士後期課程 社会福祉学専攻 3名

出願資格

大学院学生募集要項を参照して下さい。

入試内容

| 区分 | 試験科目 |
|----------------|---------------------------------|
| 一般入試(長期履修を含む) | 専門、英語(辞書持参可、電子辞書不可)、口頭試問 |
| 社会人入試(長期履修を含む) | 修士課程 専門、小論文、口頭試問 |
| | 博士後期課程 専門、英語(辞書持参可、電子辞書不可)、口頭試問 |
| 外国人留学生入試 | 専門、英語(辞書持参可、電子辞書不可)、口頭試問 |

出願先

立正大学入試センター(品川キャンパス) Admission Center: Rissho University
Osaki 4-2-16, Shinagawa-ku, 141-8602, Tokyo, Japan
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 TEL 03-3492-6649
TEL: +81-3-3492-6649

| 出願期間 | 試験日 | 試験場 |
|--|-------------------------------|---------|
| A日程入試 2021年8月16日(月)▶8月25日(水)【必着】 | A日程入試 2021年9月4日(土) | 熊谷キャンパス |
| C日程入試 2022年1月13日(木)▶1月26日(水)【必着】 | C日程入試 2022年2月12日(土) | |

学内進学者の入試はA日程のみ。従ってC日程を受験する場合は一般入試区分となります。

合格発表

A日程入試: 2021年9月10日(金)
C日程入試: 2022年2月17日(木)
本人宛て速達郵便をもって通知

手続締切日 A日程入試: 2021年9月24日(金)
C日程入試: 2022年3月9日(水)



熊谷キャンパス

- 高崎線・熊谷駅下車(南口) 国際十王バス10分・立正大学前下車
※JR高崎線(上野～熊谷、池袋～熊谷)55分 ※上越・長野新幹線(東京～熊谷)40分
- 東武東上線・森林公園駅下車(北口) 国際十王バス12分・立正大学前下車
※東武東上線急行(池袋～森林公園)60分

問い合わせ先

立正大学大学院 社会福祉学研究科事務室

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700

TEL: 048-536-1328

FAX: 048-536-2522

立正大学ホームページアドレス
<https://www.ris.ac.jp>

立正大学社会福祉学部・社会福祉学研究科オリジナルページ
<http://www.ris-fuku.com>

Admission Unit
Graduate School of Social Welfare 1700 Magechi, Kumagaya, 360-0194, Saitama, Japan
TEL: +81-48-536-1328 FAX: +81-48-536-2522 URL: <http://www.ris-fuku.com>

2022年度

The Year of 2022

社会福祉学研究科

GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL WELFARE

修士課程 社会福祉学専攻/教育福祉学専攻

Masters Program Social Welfare / Educational Welfare

博士後期課程 社会福祉学専攻

Doctoral Program Social Welfare



「理論」と「実践」の統合を目標に



社会福祉学専攻科長
溝口 元

大学院とは「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする」と「学校教育法」(第99条)で定めています。そのため、本社会福祉学専攻科では、広義の福祉の領域で建学の精神を基にこの実現を目指していきます。

ところで、日蓮聖人のお言葉に「行学の二道をはげみ候べし」というものがあります。一般に実践と理論の両方に取り組むことが必要であることを説いたものと理解されています。これを実際の研究の場面に置き換えてみると「問題解決型」と「真理探究型」の研究になると考えられます。現代社会が抱えている深刻かつ重大な問題は速やかに解決することが望まれます。一方、納得できる解決には十分な真理探究に基づいた理論が必要です。両方を過不足なく実行することが必要です。

さて、本研究科は2000年4月にまず社会福祉学専攻修士課程を、そして、2008年度には博士後期課程を、さらに2016年度からは教育福祉学専攻修士課程を開設しました。これまでに110名をこえる修士課程修了者と3名の博士後期課程修了者を輩出することができました。修了者は、大学・短期大学・専門学校等の専任教員、福祉・保育・教育分野や行政機関で有用な人材として活躍しています。授業は平日は18時から、土曜日は12時50分から開講しています。

また、首都圏に1980年に設立された福祉系大学院の団体である社会福祉専攻課程協議会(現在、13大学院)にも参加し、委託聴講制度を利用して他大学研究科での講義も受講でき、研究発展や学術的提携・交流を促進しています。

最後に「青き事は藍より出でたれども重ねれば藍よりも色まさる」。これも日蓮聖人のお言葉です。積み重ねる努力することで成果がでてくることを意味します。本研究科に入学されるみなさんには、修学・研究を通じて人類社会の福祉と平和に寄与できる深い智恵と洞察を培われ実践されることを願っています。



アカデミックキューブ

社会福祉学研究科 カリキュラムの特色

修士課程 社会福祉学専攻

学士課程レベルの知識を基礎に、複雑化する福祉課題に応えるため、理論と実践を総合的に探究するカリキュラムを編成しています。個々人の特性と関心に即した研究指導を実施し、社会福祉分野のさまざまな問題を幅広く扱う科目群の履修をとおして、専門的知識や技能を深めていきます。

修士課程 教育福祉学専攻

学士課程レベルの知識を基礎に、複雑化する教育福祉課題に応えるため、福祉領域と教育領域の双方から、理論と実践を総合的に探究するカリキュラムを編成しています。個々人の特性と関心に即した研究指導を実施し、教育福祉分野の諸課題を幅広く扱う科目群の履修をとおして、専門的知識や技能を深めていきます。

博士後期課程 社会福祉学専攻

高度の専門性を探究し、理論と実践の総合化に向けたカリキュラムを編成しています。指導教員による研究指導のほか、特殊講義(社会福祉領域・仏教福祉領域・人間福祉領域)の履修により、研究者としての視野の拡大と学識を深める指導を行います。

授業科目一覧 2021(令和3)年度 Curriculum

| 修士課程 | | | |
|---------|--------------------------|---------------|----------|
| 社会福祉学専攻 | | 修了基準単位 30単位以上 | |
| ゼミナール群 | 仏教福祉研究ゼミナール I~IV | どちらか8単位選択必修 | |
| | 社会福祉研究ゼミナール I~IV | | |
| 研究特論群 | 基礎共通領域群 4科目 | 4単位必修 | 合計22単位以上 |
| | 理論領域群 9科目 | | |
| | 実践領域群 5科目 | | |
| 教育福祉学専攻 | | 修了基準単位 30単位以上 | |
| ゼミナール群 | 教育福祉研究ゼミナール I~IV | 8単位選択必修 | |
| | 基礎共通領域群 4科目 | | |
| 研究特論群 | 理論領域群 福祉領域 4科目 教育領域 5科目 | 4単位必修 | 22単位以上 |
| | 実践領域群 福祉領域 4科目 教育領域 20科目 | | |
| | | | |
| 修士論文 | | | |

| 博士後期課程 | | | |
|---------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 社会福祉学専攻 | | 研究指導 1~3年次 (※) | |
| 特殊講義 | 社会福祉領域 | 社会福祉特殊講義 I 1・2 (2) | 特殊講義 |
| | | 社会福祉特殊講義 II 1・2 (2) | |
| | | 社会福祉特殊講義 III 1・2 (2) | |
| | | 社会福祉特殊講義 IV 1・2 (2) | |
| | | 社会福祉特殊講義 V 1・2 (2) | |
| 仏教福祉領域 | 仏教福祉特殊講義 I 1・2 (2) | 人間福祉領域 | 人間福祉特殊講義 I 1・2 (2) |
| | 仏教福祉特殊講義 II 1・2 (2) | | 人間福祉特殊講義 II 1・2 (2) |
| | 人間福祉特殊講義 III 1・2 (2) | | 人間福祉特殊講義 III 1・2 (2) |
| | 人間福祉特殊講義 IV 1・2 (2) | | 人間福祉特殊講義 IV 1・2 (2) |
| | 人間福祉特殊講義 V 1・2 (2) | | 人間福祉特殊講義 V 1・2 (2) |



()内単位数
各領域2単位以上、合計12単位以上修得
(※)指導教授について
毎週1回以上、3年間にわたり、研究指導を受けること。

専任教員 2021(令和3)年度 Academic Staff

| 社会福祉学専攻 | 教育福祉学専攻 | | |
|----------|------------|----------|-----------------------------|
| 教員名 | 主要担当科目 | 教員名 | 主要担当科目 |
| 01 安達 映子 | ソーシャルワーク特論 | 01 板野 晴子 | 音楽表現特論、教育研究[音楽]、領域研究[表現・音楽] |
| 02 蟻塚 昌克 | 社会福祉特論 | 02 大竹 智 | 家庭福祉特論、児童養護問題特論 |
| 03 池谷 秀人 | 社会保障特論 | 03 大平 滋 | 生涯教育特論 |
| 04 児嶋 芳郎 | 障害児家族援助特論 | 04 岡本 依子 | 発達心理学特論、領域研究[人間関係] |
| 05 清水 海隆 | 仏教社会福祉特論 | 05 志村 聡子 | 現代保育特論、領域研究[環境] |
| 06 白井 健次 | 特別支援教育特論 | 06 溝口 元 | 生命倫理特論 |
| 07 森田久美子 | 精神保健福祉特論 | 07 村尾 泰弘 | 教育相談特論 |
| 08 新井 利民 | 地域福祉特論 | 08 石橋 昌雄 | 教育研究[社会] |
| 09 鈴木 浩之 | 児童福祉特論 | 09 奥富 庸一 | 領域研究[健康]、領域研究[表現・身体] |
| 10 関水 徹平 | 福祉社会学特論 | | |
| 11 土屋 典子 | 高齢者福祉特論 | | |
| 12 濱畑 芳和 | 少年司法特論 | | |

主な修士論文・博士論文 Master Thesis・Doctoral Dissertation

修士論文
「障害児保育」の軌跡と展望—保育所保育を中心に— / 学校不適応を示す中学生の家庭と地域における居場所感の特徴—不登校現象解消のために— / ノーパティス・パーフェクトプログラムが母親に与える効果 / 義務教育課程における不登校事情の変遷 / 希死念慮を持つ相談者に直面する精神保健福祉士の「死生観」と自殺予防対策への提言 / 通所介護職員の「平常心を保てない状況」が生じる背景と平常心の保持に向けた取り組み / 保育現場における保育者間の協働に関する調査研究—専門性の強調が保育者間の協働を阻害してはいないか— / タイの高齢者分野における日本の支援・協力のあり方に関する研究 / 社会福祉学部生の「障がい者のスポーツ」に対する認知度および意識に関する研究 / 小地域における福祉活動と情報の機能 / 保育者間コミュニケーションがもたらす人間関係構築の方法と内容 / 幼保一体化園における保護者との連携を促す保育参加のあり方 / 低年金者が出現する要因—生活保護の高齢受給者の増大を通して— / 高齢者の在宅支援の現状と課題—茨城県の取り組みを事例に— / 地域社会における市民活動の役割と継続の要因に関する考察—子ども・子育て支援に焦点を当てて— / 日本近世・近代の「返し」とその周辺者 / 中国における家庭教育と青少年の発展について—社会資本、文化資本、影の教育を基に— / タグラビー実践が小学生の居場所感に与える影響—埼玉県熊谷市の取り組みに着目して— / 親子の依存的関係からの自立およびその関係の変容

博士論文
乳幼児施設における生命尊重の心情を育む動物介在活動と保育者養成課程への導入 / 外国籍児の育ちを保障する多文化共生保育—当事者としての外国籍保育士の役割を手がかりとして— / 仏教福祉思想の研究

社会人のための制度 Recurrent Education System

長期履修制度 修士課程 最長4年間 博士課程 最長6年間

教員免許状 Teacher's Certificate

専修免許状の取得

修士課程 教育福祉学専攻 小学校、幼稚園の一種免許状取得者は、所定の科目を履修し、24単位以上を修得することによって、各専修免許状を取得できます。

修学支援 Support

※2022年度は一部変更の可能性あります。

- 立正大学大学院研究科別奨学生** 立正大学石橋湛山記念基金に基づく奨学金です。返還の義務はありません。
- 立正大学大学院橋経済支援奨学生** 立正大学石橋湛山記念基金に基づく奨学金です。返還の義務はありません。
- 立正大学校友会大学院生研究奨励** 立正大学校友会の在学生支援事業に基づく奨学金です。返還の義務はありません。
- 日本学生支援機構奨学金** 人物・学業ともに優れ、経済的に修学困難な学生に対し、奨学金が貸与されます。
- 私費外国人留学生学習奨励費** この制度は、わが国の大学(大学院を含む)に在籍する私費外国人留学生で、「留学」の在留資格を有する者が申請できます。
- 私費外国人留学生授業料減免制度** 私費外国人留学生で成績・人物がともに優れ、かつ留学生生活を続けていくために経済的な援助を必要とする留学生が申請できます。

詳しくはホームページをご覧ください。

卒業生・在校生メッセージ Message



百瀬 ユカリさん
2018年度社会福祉学専攻 博士後期課程修了 博士(社会福祉学)
勤務先: 日本女子体育大学(体育学部 スポーツ健康学科幼児発達学専攻)

1. 立正大学大学院社会福祉学研究科を志望した理由
勤務地から通いやすく、教授陣が充実しており、社会人でも受講可能な開講期間であったことです。職場にいらした本研究科社会人修了生からのお勧めもあり、志望しました。



村島 朋恵さん
社会福祉学専攻 修士2年生

1. 立正大学大学院社会福祉学研究科を志望した理由
私は学部の頃から立正大学に通っていたのですが、教員の方々と学修環境、共に優れた大学であることを知っていました。また、奨学金制度が充実しており、学費の負担をあまり気にせず勉学に励むことができました。そのため、立正大学大学院を志望しました。

2. 立正大学院での講義
立正大学大学院の授業は基本的に夜間開講であるため、社会人学生も多く通っています。また、毎年留学生も入学するため、様々な立場の人と議論を交わし、思索を深めることができます。

3. 学んでいること、研究していることを今後どのように生かしていくか。
私の修士論文の研究テーマは、「障害のある親の介助制度における「育児支援」」です。修士課程修了後も、「障害者が施設でなく地域で暮らしていけるようにするにはどのようなことが必要なのか」ということについて考え、研究を進めていきたいと思っています。